

筑前國續風土記

十九

和書門			
二九三六八	二一八	二八册	類
架	函	號	

內閣文庫			和書
二九三六八	二一八	二八册	類
架	函	號	

內閣文庫	
番號	和 29368
冊數	28 (19)
函號	176 46

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale

C Y M

© Kodak 2007 TM: Kodak



筑前國後風古記卷之十九

早良郡

但葉八幡文

但葉松系

多烟村

草系江

石村 五井社

岩本判官正氏墓

宝見川

石水川

岩屋権現

愛宕権現

岩屋権現

姪濱

探歌巻

小戸

真徳寺

結古橋

也良湯

生松系

生ノ社

大谷乃

山戸村

七隈村

小田辺村

野方村

野方塚元

飯塚社

口ノ村

今妻村

今妻村

入形村

曲瀬村

花欄瀑布

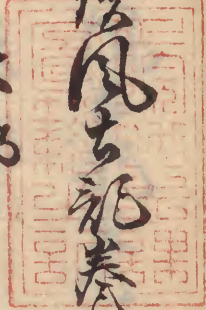
振山編

振山村

内野村

朽木文庫

内一〇四二號



推系

板屋村

一 宵振山

植丹山

古平寺址

油山

神松寺

櫻系村

光村

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

能率國鐘風と祀卷之十九

早良郡

此郡福屋城下の西より東へ一福園の城下の町と西の方三
分より早良郡中より早良郡海まで二方より山より早良



の村より多く水田あり中より早良郡海まで二方より山より早良
郡と又志願と宗像郡福屋の東ありいはりり早良郡と
志願郡と南より北はりり早良郡の東より南より早良

山ありて地那よりなるるなりし山麓に是地那よりなるる

地名ありて我々名を記す所の編の卷なり

時作と能井 能解能解村 額田 早良 平野飯堂

今稱する所の名

多田 田橋 上巻尾 下巻尾

行田 堤 東神山 西神山

松系 櫻系 小笠原 松屋

椎系 松山 内巻 西村

石堂 曲園 西入部 東入部

三巻 金巻 早良 三巻

飯堂 好原 橋本 冊方

十古所 下山門 石巻 福寺

姫原 好原浦 油橋 沼原丸

背田 山田部 田村 光村

形原 梅本 糸村 飯倉

七原 庄村 蓋石 藤原

西水町 菅原 谷村 井橋

紅葉八幡文

昔は社を初め橋本邑より活元時代洋分は本國之光也
橋本村めて生息のありて是村ありて是て寛文六年より
橋本村より今の地に移りて是社を初め是社より遠く

海城郡山崎の島に令下しては事と因らざるの福は海
城の町に作る毎家一軒の事なりやわん事か松石も
植ふせらるる世に年と進く御長しとまふ松年、後、
松林とかく幾方株と云事と知くことと高木多しと云
名と云くくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
海の多代に松石と云くくくくくくくくくくくくくく
而又くくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
唐人所の水と云くくくくくくくくくくくくくくく
年と云の比は松石の面と云くくくくくくくくくく
松石の亦云くくくくくくくくくくくくくくくくく
宅と云くくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

古くは海城郡山崎の島に令下しては事と因らざるの福は海
城の町に作る毎家一軒の事なりやわん事か松石も
植ふせらるる世に年と進く御長しとまふ松年、後、
松林とかく幾方株と云事と知くことと高木多しと云
名と云くくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
海の多代に松石と云くくくくくくくくくくくくくく
而又くくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
唐人所の水と云くくくくくくくくくくくくくくく
年と云の比は松石の面と云くくくくくくくくくく
松石の亦云くくくくくくくくくくくくくくくくく
宅と云くくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

名銅村

此村の産神の事、福島の郡、あまたに、ゆる神初を

湯河の村に隣りてある同族の村に一人の婦人ありて
とれは村にありてある同族の村に一人の婦人ありて
宅の地村中にありてある同族の村に一人の婦人ありて
我村とありてある同族の村に一人の婦人ありて
村にありてある同族の村に一人の婦人ありて

草書に

八雲津沙摩津等ありてある同族の村に一人の婦人ありて
とありてある同族の村に一人の婦人ありて
はよの浦に入ありてある同族の村に一人の婦人ありて
仙とありてある同族の村に一人の婦人ありて

草書にありてある同族の村に一人の婦人ありて

漢書にありてある同族の村に一人の婦人ありて

草書にありてある同族の村に一人の婦人ありて

古村天神社

古村にありてある同族の村に一人の婦人ありて
ぬとありてある同族の村に一人の婦人ありて
たにありてある同族の村に一人の婦人ありて
ありてある同族の村に一人の婦人ありて
のありてある同族の村に一人の婦人ありて

岩本判官西武家

古村の西の端にありてある同族の村に一人の婦人ありて
西武家ありてある同族の村に一人の婦人ありて

物河をけり世々もてしる中一の事少き事なれども

宝見川

宝見川の事少き事なれども宝見川の社あり
尚や村より下の川の名は宝見川の社あり

白子水川

早良川のお西邊の社あり山門とては
よりの事少き事なれども

磐尾神社 昔は岩屋神社

磐尾浦山の事少き事なれども磐尾神社あり
磐尾神社の事少き事なれども磐尾神社あり
磐尾神社の事少き事なれども磐尾神社あり

祠ありしより磐尾神社ありしより磐尾神社あり
磐尾神社の事少き事なれども磐尾神社あり
磐尾神社の事少き事なれども磐尾神社あり
磐尾神社の事少き事なれども磐尾神社あり
磐尾神社の事少き事なれども磐尾神社あり
磐尾神社の事少き事なれども磐尾神社あり
磐尾神社の事少き事なれども磐尾神社あり
磐尾神社の事少き事なれども磐尾神社あり
磐尾神社の事少き事なれども磐尾神社あり
磐尾神社の事少き事なれども磐尾神社あり

奥徳寺 碑系源記

如廣く有海軍山と号刻立の時代洋のに大慈國師南浦和
尚唐土より海朋の時廿寺より身して二年後在ると何廿五の
厄大慈の法儀と書せ替るとより大慈誓とすてありと主佛神
今廿寺よりありと書す佛とす度河は那宗福とす信持とす
奥徳寺の御の市中とをくくくまわての光角とめとく度寺有
一とんりてと海と福と光相寺の屋山一層と大慈の中と
光相寺とくくは像とくくと書奥徳寺と書とす昔奥徳寺
と子院八面あり一白亮と水光寺檀也と二樂流とありと後
市中ありと有と書は区居慶流とていなり

能古河

能古河名あり武能解河くくありとて能古河とす

初野群載めり能河那とく一層流ありと書す那とすくくく一遠く
廿河より良那の正水と有能河那志と那め隔ぬとくありと那
と層とく一層と今と早良那とす福是海と二層有河の号
二層有河名ありと河二子河南あり二層有満山と書とく村人
川販て能河とくくくくくと書とく屋のやとくく一能古河と村中
と白盤大明神の法ありと能古河の神と村人の法と神切會后
と書とくくは能河の河廿河と能古河の法と書とくくくめ能古河
伏とくくくくくくく物能とくくく古は能古河と年と牧有とく延書
村とくくくくく又は能古河とく申有と方難因能古河とくくく地有
申有と能古河とく色とくくくくく二と書能古河能古河と書又能古河
能古河一町と能古河とくくく能古河と書能古河と書

古に城あり、室戸村をあるるに谷間あり

小田郡村

村より西の方小田郡市古に依り松浦との依り松の本ナリ
として又北條の南の方よ是等のと松浦とあり
流世との依り松浦の依り松浦の依り松浦の依り
とありは是れいふ人よと云ふは

野方村

野村より西の方山ありと云て野村の上の山ありと云ふは
とありは野村の西の山ありと云ふは野村の西の山ありと云ふは
如く野村の西の山ありと云ふは野村の西の山ありと云ふは

野方城

の京村の南に

野方村より西の方山ありと云て野村の上の山ありと云ふは
及向ひの山ありと云ふは野村の上の山ありと云ふは
とありは野村の西の山ありと云ふは野村の西の山ありと云ふは
世那の山ありと云ふは野村の上の山ありと云ふは
山の下の山ありと云ふは野村の上の山ありと云ふは
入は山ありと云ふは野村の上の山ありと云ふは
として野村の上の山ありと云ふは野村の上の山ありと云ふは
武首人よと云ふは野村の上の山ありと云ふは
家ありと云ふは野村の上の山ありと云ふは
よと云ふは野村の上の山ありと云ふは
野村の上の山ありと云ふは野村の上の山ありと云ふは

の南の方より西の山を越して北に流るる程村の南に枝村ありき
ありけりなる日有座とて早良なるに位に流るる大なる昔
今のたよりとてふるふ南の方と通るに位に流るる村ありき
昔に流るるやとてふるふ流るる流るる流るる流るる流るる

江戸村

村民の流るる江戸村とて一名とて江戸村とて一名とて江戸村とて一名
ありき江戸新原とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村
江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村

今更村

流るる江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村
江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村
江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村

有今更の流るる江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村
江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村
江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村

今更村

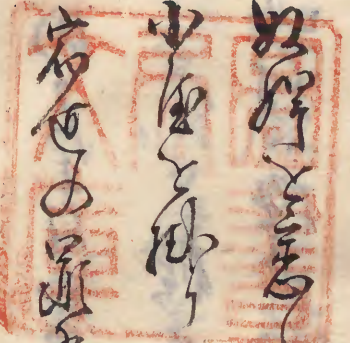
高は山に流るる江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村
江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村
江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村とて江戸村

入部村

既と結ん為るゝ云福子の信託者種のと善く種ぬ抄送与陸
信流る再興と云り再興之後又薩子の言中種ぬと種てよと
以本礼世の時と述する人云くはひい度乞の地とぬ西使
も種矣の後再興と云り再興の言中種ぬと種てよと
言中種ぬと云りて種ぬと云後種子の言中種ぬと種てよと
所了群衆中二言を種ぬと云りて種ぬと云の言中種ぬと種てよと
新きよんて云り又種ぬと云りて種ぬと云の言中種ぬと種てよと
日種ぬと云の言中種ぬと云りて種ぬと云の言中種ぬと種てよと
大綱と云りて種ぬと云りて種ぬと云の言中種ぬと種てよと
書字と云りて種ぬと云りて種ぬと云の言中種ぬと種てよと
と云りて種ぬと云りて種ぬと云の言中種ぬと種てよと

言中種ぬと云りて種ぬと云の言中種ぬと種てよと
又東の言中種ぬと云りて種ぬと云の言中種ぬと種てよと
就堂と云りて種ぬと云りて種ぬと云の言中種ぬと種てよと
て云りて種ぬと云りて種ぬと云の言中種ぬと種てよと
村と云りて種ぬと云りて種ぬと云の言中種ぬと種てよと
種ぬと云りて種ぬと云りて種ぬと云の言中種ぬと種てよと
と云りて種ぬと云りて種ぬと云の言中種ぬと種てよと
と云りて種ぬと云りて種ぬと云の言中種ぬと種てよと
と云りて種ぬと云りて種ぬと云の言中種ぬと種てよと
と云りて種ぬと云りて種ぬと云の言中種ぬと種てよと
と云りて種ぬと云りて種ぬと云の言中種ぬと種てよと
と云りて種ぬと云りて種ぬと云の言中種ぬと種てよと
と云りて種ぬと云りて種ぬと云の言中種ぬと種てよと
と云りて種ぬと云りて種ぬと云の言中種ぬと種てよと
と云りて種ぬと云りて種ぬと云の言中種ぬと種てよと

内へ渡りてそのまゝにありて候へども候はるゝに候はるゝに
あはれにまゝに候りてありて候はるゝに候はるゝに
候はるゝに候はるゝに候はるゝに候はるゝに
又候はるゝに候はるゝに候はるゝに候はるゝに
又候はるゝに候はるゝに候はるゝに候はるゝに
又候はるゝに候はるゝに候はるゝに候はるゝに
又候はるゝに候はるゝに候はるゝに候はるゝに
又候はるゝに候はるゝに候はるゝに候はるゝに
又候はるゝに候はるゝに候はるゝに候はるゝに
又候はるゝに候はるゝに候はるゝに候はるゝに



主候とありて候はるゝに候はるゝに候はるゝに
候はるゝに候はるゝに候はるゝに候はるゝに
又候はるゝに候はるゝに候はるゝに候はるゝに
又候はるゝに候はるゝに候はるゝに候はるゝに
又候はるゝに候はるゝに候はるゝに候はるゝに
又候はるゝに候はるゝに候はるゝに候はるゝに
又候はるゝに候はるゝに候はるゝに候はるゝに
又候はるゝに候はるゝに候はるゝに候はるゝに
又候はるゝに候はるゝに候はるゝに候はるゝに
又候はるゝに候はるゝに候はるゝに候はるゝに



能登國續風土記卷之十九終

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written vertically on the right page of an open book. A prominent red seal is visible in the upper right quadrant of the page.

